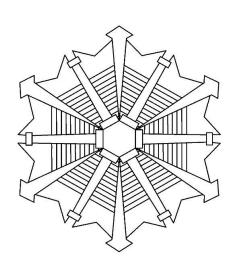
消防年報

令和4年版



魚沼市消防本部 (令和5年刊行)

----- 目 次

1	総括 (1) (2)	。 魚沼市の 魚沼市洋)概要 当防の	及ひ 沿革	《位: <u>:</u> •	置•	地勢•••	岑•	•						•				•		• .	1 2~9
2	総務 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	5編 消魚防疗 消消 消消 消消 消 消 消 消 消 消 消 消 消 消 消 消 消 消	合当員員や多数の現本配勤年状況の	に 記録 に は に い は に い は 年 状 ・ ・	・署況数況・・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 機桿· · · · · · · · · · · · · · · · · ·		•		•			•	•				•	 	•	10 10 11 11 11 11 11 12
3	(6) (7) (8) (9) (10)	7編 防中火各過消危危火過令火時死 対層予育 5 用物物の 5 4 の別・ 対層を防力を開始がある 4 の別・	日常を対している。日間にはいる。日間にはいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	甲(沢過・災種特・去・発	学院・1975年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年第一年	火消・ 年・ 伏官防・ 間・ 況	理制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ガ備・移・・	·講(等) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	習 ・・・・・ きぎ 談・・・・・	他置・・・・	状届・・・・	兄・ 出書 ・・・ ・・・	· 受 · · · ·	理・・・・	· 件 · ·	数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	 •		17 17 18~19 20 20 21
4	(6) (7) (8) (9) (10)	消救ポ消消救消1気降機関重するが防急防力が応出緊急がありませば、	間が回りである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	動・置状・・の動・・状・・汚覚・櫻災・・	況・経・書・要害・・	・・過・締・・案・・	・・数・状・・着・・	・・・沢・・・・回・・	· · · · · · 数· ·		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •									 		23 24 25 26 27 28~32 33~34 35 36 37
5	消防 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	一团 歷消消消年在消消消 所以到到 所以到时时的时间, 是一个, 是一个, 是一个, 是一个, 是一个, 是一个, 是一个, 是一个	方員担員・ 女員員? 団数織及階別のの事 長の区び級消職就業	・推・消別防業業概・移・防消団構形要	・・・ポ防員成態・	・・・ン団数・・・	・・・・の数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は一番	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・・・兄・・・・・	•			•	•				•	 		38 39 40 41 42 42 42 42 42 43

1 総括

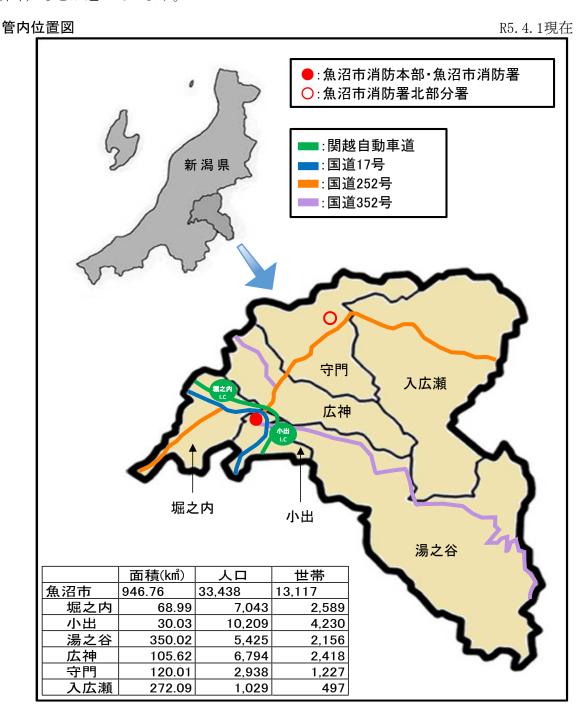
(1) 魚沼市の概要及び位置・地勢

魚沼市は、平成16年11月1日に、北魚沼郡堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村及び入 広瀬村が合併して誕生しました。

市は、新潟県の南東部に位置し、福島県及び群馬県の県境に接し、一部は尾瀬国立公園及び越後 三山只見国定公園に指定され、周囲を山々に囲まれた自然豊かな地域です。また、森林山岳地帯を 源に1級河川の魚野川、佐梨川、破間川が流れ、合流地点である小出地域を中心に生活圏が形成さ れています。総面積は946.76k㎡で新潟県全体の7.5%を占めています。

気候は、西を魚沼丘陵、東を越後山脈に挟まれた魚沼盆地の北方に位置しているため、夏は高温 多湿、冬は市街地でも最深積雪の平年値が2mを超える国内有数の豪雪地帯です。

市内交通網は、関越自動車道が横断しており、小出IC及び堀之内ICが設置されています。近くに上越新幹線浦佐駅もあり、首都圏、県内主要都市までの交通は便利です。その他に、東京都から新潟県を結ぶ国道17号(三国街道)、福島県へ連絡する国道252号(六十里越)、352号(銀山街道、枝折峠)などが通っています。



(2) 魚沼市消防の沿革

年・月		記事
昭和41年 (1966年)	4月	・小出町及び湯之谷村で消防及び衛生事務(火葬及びゴミ処理)を共同処理する「小出郷消防・衛生施設組合」を設立
昭和42年 (1967年)	4月	・小出郷消防本部を小出町役場内に設置(職員3名) ・小出町消防団及び湯之谷村消防団を統合し小出郷消防団を設置
(1907-7)	6月	・小出町企業課の倉庫を改造し小出郷消防本部・署を設置 消防業務を開始(組合消防としては県下初)
	9月	WA = 11 1421 : WHI :: HAND A B = EXTE
	12月	(湯之谷村大字井口新田571-1) ・同庁舎竣工供用開始 (鉄筋コンクリート2階建て 延べ床面積403.38㎡)
昭和43年 (1968年)	4月 5月	・職員1名採用(職員16名) ・気象観測業務開始 ・小出ライオンズクラブから救急自動車(1B型)1台の寄贈を受ける
昭和44年 (1969年)	1月 4月	・湯之谷第1中学校体育館が雪で倒壊(体育館1棟倒壊) ・広神村水沢新田地内で地すべり発生
	5月 8月	死者8名 倒壊家屋10戸 埋没家屋15戸 ・職員1名採用(職員17名) ・8. 12魚野川水害発生 行方不明者1名 重傷者1名 床下及び床上浸水2, 144戸
昭和45年	3月	・生命保険協会から救急自動車 (2B型) 1台の寄贈を受ける
(1970年)	4月	・損害保険協会から消防自動車の1台の寄贈を受ける ・堀之内町組合に加入(構成町村2町1村) ・堀之内町消防団属地方式(消防団2団制)
	10月	・職員9名採用(職員26名) ・第21回新潟県消防大会が小出町で開催 会場:新潟県立小出高等学校グラウンド 参加人員:約1,000名
昭和46年 (1971年)	6月	・広神村組合に加入(構成町村2町2村) ・広神村消防団属地方式(消防団3団制) ・職員3名採用(総員29名)
	10月	・全国都市消防レンジャー大会(柏崎市)はしご登はん優勝 ・2,5000水槽付(薬液6000、水1,9000)化学消防ポンプ自動車1台配置 ・北魚沼郡を単位とする広域消防を推進するため消防庁舎建設起工 (小出町大字日渡新田49-2)
昭和47年 (1972年)	4月	・守門村及び入広瀬村両村組合に加入(構成町村2町4村) ・守門村及び入広瀬村両村消防団属地方式(消防団5団制)
	5月	・職員5名採用(職員34名) ・消防新庁舎建設竣工供用開始 (コンクリート3階建て 延べ床面積1,380.24㎡)
	7月	
	10月	・同渋川出張所建設竣工供用開始 (鉄骨造り2階建て 延べ床面積143.65㎡)
昭和48年 (1973年)	3月 4月 11月 12月	・日本自動車工業会から救急自動車(3B型)1台の寄贈を受ける ・職員4名採用(職員38名) ・指令車1台 消防ポンプ自動車1台配置 ・豪雪で伊米ヶ崎中学校倒壊

年・月		記事
昭和49年(1974年)	4月 7月	
昭和50年 (1975年)	4月 5月 6月 11月 12月	・職員2名採用(職員44名) ・救急自動車(2B型)更新 ・県立小出病院との合同防災訓練実施
昭和51年 (1976年)	1月 2月 4月 5月 11月	・広神村中子沢地内表層雪崩発生(死者1名) ・小出町向山地内において地滑り発生(一部住民避難命令) ・消防運搬自動車整備(1.5tトラック)
昭和52年 (1977年)	8月 9月	
昭和53年 (1978年)	4月 5月 6月 9月 11月	・消防訓練場拡張整備(借地) ・6.26水害発生(管内全域) 家屋全壊1棟 堤防決壊16箇所 土砂崩れ130箇所 ・24m級消防ポンプ付梯子車整備
昭和54年 (1979年)	4月 7月 9月 10月 12月	・第1回小出の気象発刊 ・小出郷消防団 6.26水害における功績で内閣総理大臣表彰を受ける
昭和55年 (1980年)	4月 7月 10月 12月	連絡用軽自動車整備(出張所)・県総合防災訓練が北魚沼地区で実施
昭和56年(1981年)	1月 3月 4月 8月 9月 10月 12月	家屋全壊4棟 死者8名 負傷者3名 ・湯之谷村下折立地内で雪崩災害発生 家屋全壊1棟 組合立老人ホーム「南山荘」直撃 死者6名 負傷者5名 ・緊急情報現示システム整備 ・日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受ける ・職員2名採用(職員52名) ・救助技術東北大会1名出場 ・8.23魚野川水害発生(小出町及び堀之内町) 床上浸水400世帯 床下浸水967世帯 ・小出郷広域事務組合消防本部、小出郷消防団及び守門村消防団が 雪崩災害における功績で内閣総理大臣表彰を受ける ・職員1名採用(職員53名) ・大型消防車両車庫建設起工

年・月		記事
昭和57年 (1982年)	2月 4月	
	6月 8月	・水難救助用ボート(船外機付)整備
	12月	・車両用整備器機整備 ・新潟県消防学校へ1名派遣
昭和58年 (1983年)	3月	・守門村荒貫地内で表層雪崩発生 死者1名
	4月 9月	・職員1名採用(職員57名)
昭和59年(1984年)	3月	 ・消防ポンプ自動車(A−1級)1台更新 ・訓練場拡張整備(776㎡)
	4月 6月	
昭和60年 (1985年)	8月	消防連絡車更新消防訓練塔建設起工
	10月 11月	・水難救助隊設置(隊員5名) ・消防訓練塔建設竣工 主塔(鉄筋コンクリート6階建て 延べ面積231.24㎡)
	12月	副塔(鉄骨2階建て 延べ面積28㎡) ・一般住宅の消火器一斉点検実施
昭和61年 (1986年)	9月	・組合消防20周年記念事業実施 ・第2回小出の気象発刊
昭和62年 (1987年)	3月	・農業共済事業の共同処理開始に備えて庁舎3階会議室を事務室に 改装供用開始 ・組合章、シンボルマーク、消防訓、消防歌、消防の日及び消防の
	8月 9月 10月	・事務処理の増加に伴い庁舎4階部分増築着手
昭和63年 (1988年)	3月	・庁舎4階部分増築竣工供用開始 (4階部分 鉄骨造り 延べ床面積467.82㎡)
	4月 10月	・職員1名採用(職員59名)
昭和64年 (1989年)	1月	・1月7日昭和天皇崩御
平成元年 (1989年)	1月 4月 8月	・職員1名採用(職員59名)
	10月	・堀之内町及び広神村で消防防災展開催
平成2年 (1990年)	4月 7月	
平成3年 (1991年)	4月 8月	・職員2名採用(職員60名) ・全国消防救助技術大会出場 はしご登はん

年・月		記事
平成4年 (1992年)	4月 10月 11月 12月	・広神村小平尾地内の国道352号線で土砂崩れが発生し、国道を塞ぐ・救急救命中央研修所入校(救急救命士課程)・荒沢岳前嵓遭難救助(登山者滑落 負傷者1名)現場積雪20cmの中、夜を徹しての活動
平成5年 (1993年)	3月 4月 5月	・職員3名採用(職員63名)
平成6年 (1994年)	1月 4月 6月 9月 10月	・職員3名採用(職員65名)・高規格救急自動車運用開始・消防署渋川出張所増改築工事着手・同工事竣工供用開始
平成7年 (1995年)	4月 7月	·新潟県消防防災航空隊運航開始 隊員1名派遣
平成8年 (1996年)	4月 8月 10月 12月	・全国消防救助技術大会出場(札幌市) ロープブリッジ救出 はしご登はん ・消防職員委員会に関する規則制定
平成9年 (1997年)	3月 4月 5月 11月	・職員4名採用(職員68名) ・マイクロバス(29人乗)整備
平成10年 (1998年)		会場:小出中学校及び小出郷文化会館 参加者:2,000名 ・全国消防救助技術大会出場(大阪市) はしご登はん ロープブリッジ渡過
平成11年 (1999年)	4月 8月	
平成12年 (2000年)	6月 7月 8月	ブロック雪崩(二次災害)発生 遭難者死亡 殉職者3名(消防1名 警察2名) 殉難者1名 負傷者5名(重傷1名 軽傷4名) ・「浅草岳殉職・殉難者合同蔡」 小出郷文化会館(大ホール)

年・月		記事
平成13年 (2001年)	4月 6月 10月	・指令車更新
平成14年 (2002年)	4月 7月 9月 11月	・「北魚沼6か町村合併審議会」設置 ・職員1名採用
平成15年 (2003年)	3月 4月 5月 8月 10月	・職員1名採用(職員65名) ・職員1名採用 ・北魚沼6か町村合併調印式 小出郷文化会館(大ホール) ・全国消防救助技術大会出場(仙台市) ロープブリッジ救出 ほふく救出
平成16年 (2004年)	7月 8月 10月 11月	見附市及び三条市へ応援出動 ・荒沢岳雪渓崩落事故(3名遺体で発見収容) ・全国消防救助技術大会出場(兵庫)ロープ登はん
平成17年 (2005年)	6月 10月	 ・緊急消防援助隊登録(ポンプ車隊1隊) ・6.28豪雨災害発生(管内全域) 負傷者5名(重傷1名 軽傷4名) 床上浸水1世帯 床下浸水22世帯 ・携帯119直接受信運用開始 ・近年稀に見る積雪を年内に観測 積雪219cm(12/29) 降雪65cm(12/24)
平成18年 (2006年)	2月 3月 4月 9月	・水槽付消防ポンプ自動車整備 ・職員1名採用(職員67名)
平成19年 (2007年)	2月 3月 4月 7月	・タンク車整備 (CAFS付) ・日赤救急車整備
平成20年 (2008年)	3月 4月 8月 9月	・消防緊急通信指令システム導入 ・高規格救急車整備 ・職員3名採用(職員70名) ・全国消防救助技術大会出場(北九州市)ロープブリッジ救出 ・資機材運搬車(ウインチ及びクレーン付トラック)整備 ・鷹の巣ヘリポート新設

年・月		記事
平成21年 (2009年)	3月 4月 7月 8月 12月	・職員3名採用(職員72名) ・災害対応特殊ポンプ車整備 ・全国消防救助技術大会出場(横浜市)ロープブリッジ救出
平成22年 (2010年)	1月 2月 4月 6月 8月 9月 12月	・A-1級ポンプ車整備 ・職員4名採用(職員71名) ・浅草岳殉職・殉難者追悼合同献花会開催 ・消防団小型動力ポンプ積載車整備(総務省消防庁貸与) ・全国消防救助技術大会出場(京都市)ロープブリッジ救出 ・新潟県総合防災訓練を入広瀬地区にて開催
平成23年(2011年)		 ・災害救助法適用 (1/27) ・最高積雪301cm (2/1) ・東日本大震災発生 東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊として石巻市へ派遣 ・新消防庁舎建設基本計画策定 ・職員6名採用 (職員72名、うち副市長部局へ派遣1名)
平成24年(2012年)	1月 2月 3月 4月 6月 7月 8月 12月	 ・大雪警戒本部設置(1/27)豪雪対策本部へ移行(1/31) ・災害救助法適用(2/3) ・最高積雪303cm(2/11) ・魚沼市消防本部及び魚沼市消防団が災害の防除と消防力の強化における功績で消防庁長官表彰旗を授与される ・職員3名採用(職員72名) ・八箇峠トンネル爆発事故 南魚沼市へ応援出動・魚沼市消防署上条出張所庁舎建設起工・魚沼市消防庁舎建設起工・全国消防救助技術大会出場(鶴岡市)ロープブリッジ救出・魚沼市消防団が新潟・福島豪雨災害における功績で内閣総理大臣表彰を受ける
平成25年 (2013年)	1月 2月 3月 4月 5月 10月 11月 12月	 ・災害救助法適用 (2/22) ・最高積雪293cm (2/26) ・雪害警戒本部へ移行 (3/5) ・職員2名採用 (職員74名) ・職員1名採用 ・魚沼市消防署上条出張所開所 (10/1) 【魚沼市上条乙14番地2】 ・除雪用ホイルローダー整備 (11/8) 【上条出張所】

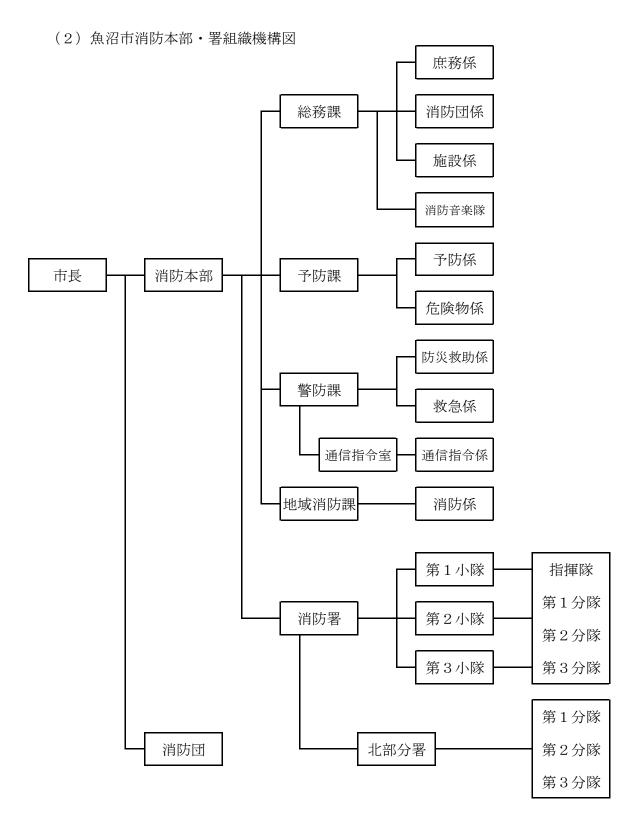
年・月		記 事
平成26年 (2014年)	1月 3月 4月 6月 8月 10月 11月	 ・最高積雪185cm (3/8) ・消防緊急通信指令システム移設改修 ・職員4名採用(職員72名) ・全国植樹際(月岡公園) ・連絡車整備(6/26) ・全国消防救助技術大会出場(千葉)ロープ応用登はん ・消防フェスタ開催(10/19) ・指令車整備(11/7)
平成27年 (2015年)	2月 4月 5月 8月 9月 10月 12月	・職員3名採用(職員73名) ・職員1名採用 ・全国消防救助技術大会出場(神戸市) ほふく救出 ・第4回消防フェスタ開催【北部ふれあい広場】 (9/13) ・全国女性消防操法大会【横浜市消防訓練センター】 (10/15)
平成28年 (2016年)	3月 4月 8月 10月 12月	・消防救急デジタル無線整備(3/31)・職員3名採用(職員74名)・全国消防救助技術大会出場(松山市)ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過 ロープ応用登はん
平成29年 (2017年)	1月 2月 3月 4月 7月 8月 9月 12月	 消防音楽隊合同練習(新潟、長岡及び魚沼) 最高積雪155cm (3/9) ・職員4名採用(職員74名) ・豪雨災害 半壊1棟 床上浸水19棟 床下浸水362棟 浸水138棟…住宅及び非住宅 ・全国消防救助技術大会出場(仙台市) ロープブリッジ救出 ロープ応用登はん ・消防フェスタ開催【小出病院祭と共催】(9/24)
平成30年 (2018年)	1月 2月 4月 8月 9月 10月	・最高積雪256cm (2/14) ・職員2名採用 (職員75名、県消防防災航空隊1名派遣) ・全国消防救助技術大会出場 (京都市) ロープブリッジ救出 ロープ応用登はん ・消防フェスタ開催【小出病院祭と共催】 (9/30)
平成31年 (2019年)	1月 4月	
令和元年 (2019年)	9月 10月	・全国消防救助技術大会出場(岡山市) ロープブリッジ救出 ロープ応用登はん ほふく救出 ・消防フェスタ開催【小出病院祭と共催】 (9/29)

年・月		記事
令和2年 (2020年)	2月	・台風19号災害における功績で消防庁長官表彰を受ける ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策本部設置
	4月	・最高積雪47cm (2/10) ・職員2名採用(職員74名)県消防防災航空隊1名派遣 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い救助技術大会中止(県〜全国)
	9月	
令和3年 (2021年)	2月	・高機能消防指令センター(指令設備)一部更新
	3月 4月	1 1/2 = 1/1 1/2 = 1/1 1/2 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	6月	
令和4年 (2022年)	2月 4月	
令和5年 (2023年)	1月 4月	

2 総務編

(1)消防庁舎の現況(公有財産)

ĺ	名称	所在地	構造	建築年月	面積	(m²)	
	21170	別在地	件 坦	(竣工)	土地(面積)	建物(延べ面積)	
	消防本部・署	魚沼市四日町450番地1	RC 3階建て (一部4階建て)	平成25年12月	7, 394. 28	3, 098. 12	
	北部分署	魚沼市長鳥乙14番地2	RC 3階建て	平成25年9月	2, 719. 62	579. 38	



(3)消防職員の配置状況

R5.4.1現在

	区	分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	行政職	計
	_		1	2						3
		総務課		2	2	4	5	4	1	18
本	部・署	予防課		2	2	4	5	1		14
		警防課		3	3	9	4	3		22
		地域消防課		2	2	4	5	3		16
	計		1	11	9	21	19	11	1	73

(4) 消防職員の勤続年数(前職含む)

R5.4.1現在

区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	行政職	計
5年未満					1	8		9
5年以上10年未満					9	3		12
10年以上15年未満				7	9			16
15年以上20年未満				8				8
20年以上25年未満				5				5
25年以上30年未満	1	1	8	1				11
30年以上		10	1				1	12
計	1	11	9	21	19	11	1	73
平均勤続年数	25. 0	34.8	27. 3	16.8	9.3	2.8	45.0	23.0

(5)消防職員の年齢状況

R5.4.1現在

区 分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	行政職	計
20歳未満						2		2
20歳以上30歳未満					7	9		16
30歳以上40歳未満				15	12			27
40歳以上50歳未満		1	8	6				15
50歳以上60歳未満	1	10	1					12
60歳以上							1	1
計	1	11	9	21	19	11	1	73
平均年齢	59.0	54. 5	46. 4	37.6	30.3	23. 0	63. 0	44.8

(6) 消防費決算狀況

(0)	月別貝(八五	-1/1/1/L						
	消防費	内 訳			一般会計	一般会計に対	人口1人当	一世帯当り
年 度	決算額	常備消防費	非常備消防費	その他	決算額	する消防費の 割合	り消防費	消防費
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	(円)	(円)
H30	1, 183, 100	733, 186	88, 369	361, 545	28, 920, 003	4. 1	32, 784	89, 297
R1	1, 251, 980	725, 103	97, 792	429, 085	31, 949, 990	3.9	35, 334	94, 276
R2	1,070,000	781, 849	107, 363	180, 788	37, 043, 815	2.9	30, 656	80, 773
R3	1,020,394	787, 143	109, 648	123, 603	35, 911, 480	2.8	29, 901	77, 691
R4	993, 641	789, 253	93, 749	110, 639	35, 686, 270	2.8	29, 715	75, 752

(7) 職員研修状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	幹部科						
	上級幹部科						
	新任消防長・学校長科						
汾比	警防科						
消防大学校	救助科				1		1
学:	救急科						
校	予防科						
	危険物科						
	火災調査科						
	新任教官科						
	新任消防長研修						
	初任科	1	2	2	2	2	9
	警防科	1	1			2	4
	特殊災害科				2		2
	予防査察科				1	1	2
华	危険物科		1	1		1	3
潟	火災調査科	1		1	1		3
新潟県消防学校	救急科	1	2	1	1	1	6
防 学	救助科	1	1	2	2	2	8
校	初級幹部科		1			2	3
	中級幹部科	1			2		3
	上級幹部科						
	処置範囲拡大追加講習	1					1
	高度救助コース	1	1	1	1	1	5
	操法審査員研修	1	2			1	4
救急救命	研修所	1		1		1	3
指導救命	士養成研修					1	1
感染防止	対策強化研修					1	1
	計	10	11	9	13	16	59

(8) 消防音楽隊の状況 ア 編成

区分	楽器名	員数	備考
隊長	アルトサックス	1	
副隊長	バリトンサックス	1	
副隊長	クラリネット	1	
隊員	パーカッション	3	
隊員	トロンボーン	3	
隊員	テナーサックス	1	
隊員	フルート	1	
隊員	スーザーホン	2	
隊員	クラリネット	2	
隊員	トランペット	3	
委託隊員	コンダクター	1	
	計	19	

イ 活動状況

No.	出演日	内 容
1	令和4年 4月 2日	春の火災予防運動 (スーパーマーケット駐車場)
2	令和4年 7月 7日	ひがし保育園 防火広報
3	令和4年10月15日	宇賀地小学校 防火広報
4	令和5年 3月 1日	伊米ヶ崎保育園 防火広報

3 予防編

(1) 防火対象物状況

① 防火対象物数 (150㎡以上)

用途	<u> </u>	地域	堀之内	小 出	湯之谷	広神	守 門	入広瀬	合 計
	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		1		1			2
1	口	公会堂・集会場	15	20	16	24	23	11	109
	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ							0
0	口	遊技場・ダンスホール		2	1				3
2	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							0
	=	カラオケボックス等							0
0	イ	待合・料理店の類	2	8		2	1		13
3	口	飲食店	7	16	11	4	5	1	44
4	4	百貨店・マーケット・その他物品販売業を営む 店舗類	4	25	18	8	4	1	60
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		6	36		9	8	59
Э	口	寄宿舎・下宿・共同住宅	18	84	62	11	12	9	196
	イ	病院・診療所・助産所	2	7	1			1	11
6	口	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム・有料 老人ホーム・介護老人保健施設等	5	7	4	4	1	2	23
O	ハ	老人デイサービスセンター・老人福祉セン ター・保育所等	7	18	2	7	5		39
=		幼稚園又は特別支援学校		1	1				2
,	7	小・中・高・大学・各種学校	5	7	3	3	2		20
8	8	図書館・博物館・美術館	1	2			2	2	7
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等							0
9	口	イに掲示以外の公衆浴場			5			1	6
1	.0	車両の停車場		1					1
1	1	神社・寺院・教会の類	12	11	4	5	2	1	35
12	イ	工場・作業場	71	91	61	92	23	15	353
12	口	映画スタジオ・テレビスタジオ							0
13	イ	自動車車庫・駐車場	3	22	9	9	6	4	53
10	口	飛行機等の格納庫		1					1
1	4	倉庫	48	74	31	42	21	5	221
1	.5	前各号に該当しない事業所	33	97	87	35	22	20	294
16	イ	特定用途が存する複合用途対象物	16	105	35	21	8	6	191
10	口	イ以外の複合用途防火対象物	13	40	12	19	6	1	91
1	7	重要文化財・重要有形民族文化財等					2		2
1	.8	延長50m以上のアーケード		4	3				7
		合 計	262	650	402	287	154	88	1,843

②防火管理者の選任状況

R5.4.1現在

区	分	選任義務 対象物	防火管理者 選任届出済	選任率	消防計画 作成届出済	届出率
	甲種防火対象物	226	220	97%	220	97%
特定防火対象物	乙種防火対象物	51	45	88%	45	88%
	甲種防火対象物	102	83	81%	83	81%
非特定防火対象物	乙種防火対象物	14	10	71%	10	71%



(2) 中高層建築物状況

R5.4.1現在

用途	き等	階数	4階	5階	6階	7階	8階	合計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1					1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	4	5	1	1		11
Э	口	寄宿舎・下宿・共同住宅	36	12	3			51
	イ	病院・診療所・助産所	1					1
6	П	老人福祉施設・更生施設・児童福祉施設・ 身体障害者・知的障害者援護施設等						0
,	7	小・中・高・大学・各種学校	5					5
8	3	図書館・博物館・美術館等	1					1
12	イ	工場・作業場	5					5
1	5	前各号に該当しない事業所	5	1	1			7
1.0	イ	特定用途が存する複合用途対象物	4	2				6
16	口	イ以外の複合用途防火対象物	2					2
その	り他	休止・廃止						
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	64	20	5	1	0	90

(3) 火災予防条例による届出状況

R4. 1. 1~R4. 12. 31

項	目	届	出	数
喫煙・裸火危険物持ち込み承認申請	(第23条)			2
指定催しに係る防火管理計画	(第42条の3)			0
防火対象物使用開始届	(第43条)			33
炉・かまど・ボイラー等設置届	(第44条)			12
発電・変電・蓄電池設備設置届	(第44条)			20
露店開催届	(第45条)			7
催物開催届	(第45条)			9
少量危険物の貯蔵・取扱い届	(第46条)			23

(4) 各種育成団体状況

①幼年消防クラブ加入状況

R5.4.1現在

団 体 名	未満児~5歳児
小出保育園幼年消防クラブ	97
清心保育園幼年消防クラブ	60
めぐみ保育園幼年消防クラブ	44
すもんこども園幼年消防クラブ	96
ふたば東保育園幼年消防クラブ	75
ふたば西保育園幼年消防クラブ	44
合 計	416

②女性防火クラブ状況

R5.4.1現在

クラブ名	クラブ員数
JA北魚沼女性防火クラブ	795

③防火管理協会入会状况

R5.4.1現在

地区名	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計
会員数	14	44	46	12	9	5	130

④危険物安全協会入会状況

地区名	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計
会員数	13	15	15	8	6	2	59

(5) 過去5年間の甲種防火管理新規講習実施状況

年度	Н30	R1	R2	R3	R4	合 計
受講者数	43	33	30	22	44	172

(6) 消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書受理件数

R4. 1. 1~R4. 12. 31

用		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	イ	劇場等					1								1
1	口	公会堂・集会場等	1						1						2
2	口	遊技場・ダンスホール													0
3	イ	待合・料理店等													0
3	口	飲食店		1			2								3
4	4	百貨店等	1						5	1		1			8
5	イ	旅館・ホテル等			1	1					1	3	1	1	8
0	口	寄宿舎・下宿・共同住宅								2					2
	イ	病院・診療所・助産所									2	1			3
6	口	老人福祉施設等(入所施設)											2		2
	ハ	老人福祉施設等(通所施設)			3			1		1					5
,	7	学校		1	1					2	2		1	1	8
1	1	神社・寺院・教会等							1					1	2
12	イ	工場又は作業所等	3	2	1	4	1	5	2	2	2	4	4		30
13	イ	自動車車庫又は駐車場		1											1
1	4	倉庫		1	1	2					1	1			6
1	5	各項に該当しない事業場		1	1								1		3
16	イ	複合用途防火対象物		1	2		1		1	1			1		7
10	口	複合用途防火対象物									1				1
1	7	重要文化財等													0
		合 計	5	8	10	7	5	6	10	9	9	10	10	3	92

(7) 危険物施設状況

①危険物施設設置数

R5.4.1現在

施設区分				Į.	宁	盾		尼	F		取	ŧ	及	所
//////////////////////////////////////	総	製造	屋内貯	屋外タンク	屋内タンな	地下タンク	簡易タンな	移動タンク	屋外貯	小	給油取	販売取	一般取	小
地域	111 <u>1</u>	所	貯蔵所	ク貯蔵所	ク貯蔵所	ク貯蔵所	ク貯蔵所	ク貯蔵所	貯蔵所	計	扱所	扱所	扱所	計
堀之内	33		4			10	1	6		21	6	1	5	12
小 出	34		2	3		9		6		20	9	2	3	14
湯之谷	49		3	2	1	19		9	1	35	8		6	14
広 神	42		2	1		10		12		25	5		12	17
守門	29		2			11		8		21	2		6	8
入広瀬	18		2		1	9		2		14	2		2	4
合 計	205		15	6	2	68	1	43	1	136	32	3	34	69

②許可数量別危険物施設倍数別設置状況

R5.4.1現在

施設区分				Į	宁	礻	菱	戸	F			取想	及所	
	総計	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯	屋内タンク貯	地下タンク貯	簡易タンク貯	移動タンク貯	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計
種別	μΙ	<i>1</i> 21	ולל	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	וללו	п	ולו	ולל	ולו	日
5倍以下	106		14	2	2	27	1	43	1	90	2	1	13	16
5倍を超え 10倍以下	47					29				29	3	1	14	18
10倍を超え 50倍以下	36		1	4		11				16	12	1	7	20
50倍を超え 100倍以下	6					1				1	5			5
100倍を超え 150倍以下	5									0	5			5
150倍を超え 200倍以下	2									0	2			2
200倍を超え 1000倍以下	3									0	3			3
合 計	205		15	6	2	68	1	43	1	136	32	3	34	69

[※]各貯蔵所及び取扱所における指定数量に対する倍数

③年間設置許可·完成檢查·廃止等施設数

R4. 4. 1~R5. 3. 31

144	30. FZ /\				貯	:	礻	載		所		取	ŧ	及	所
他	設区分	総	製		屋	屋中	地上	簡	移動						
			造	屋内貯蔵	外タンク	内タンク	下タンク	易タンク	動タンク	屋外貯蔵	小	給油取扱	販売取扱	一般取扱	小
種	別	計	所	所	貯蔵所	貯蔵所	貯蔵所	貯蔵所	貯蔵所	所	計	所	所	所	1
金田	設置	3		1					2		3				0
許可	変更	6							2		2	3		1	4
完成	設置	3							3		3				0
検査	変更	6							2		2	3		1	4
仮使	用承認	3									0	3			3
廃	止 届	10					4		2		6	1		3	4

④危険物許可施設漏えい事故等発生状況

R4. 1. 1~R4. 12. 31

施設区分	事故の概要	発生件数	被害状況
一般取扱所	一般取扱所脇に移動タンク貯蔵所 を停車させるため後退していたと ころ、車両右後部テールランプと 注入口が接触し、破損したもの。	1	地下タンク貯蔵所の注 油口の蓋及び移動タン ク貯蔵所のテールラン プ破損。 (危険物漏洩なし)



⑤少量危険物(防火対象物等)事故発生状況

R4. 1. 1~R4. 12. 31

施	設	区	分	事	故	の	概	要	発生件数	被害状況
							事故	なし		

(8) 危険物施設数過去5年間の推移

R5.4.1現在

施設区分					貯	礻	鼓	所			取	į į	及 j	折
	総	製		屋	屋土]	簡	移動						
		造	屋内貯蔵所	外タンク貯	内タンク貯	下タンク貯	易タンク貯	動タンク貯	屋外貯蔵で	小	給油取扱	販売取扱	一般取扱	小
年度別	祉	所	外	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	蔵所	所	計	所	所	所	計
Н30	224		15	6	2	80	1	45	1	150	34	3	37	74
R1	220		15	6	2	79	1	44	1	148	33	3	36	72
R2	214		15	6	2	72	1	41	1	138	33	3	40	76
R3	212		15	6	2	72	1	42	1	139	33	3	37	73
R4	205		15	6	2	68	1	43	1	136	32	3	34	69



(9) 火災の概況

R4. 1. 1~R4. 12. 31

区分	·	世	也域	計	堀之内	小	出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬
	建物	火災		9	3				1	5	
		うち住宅	三火災	9	3				1	5	
火災	林野	火災		3						2	1
件数	車両	火災		0							
90	その	他の火災		1					1		
		合 計	ŀ	13	3		0	0	2	7	1
		全 焼		1						1	
焼		半 焼		0							
損棟数		部 分 焼		2	1					1	
数		ぼや		1						1	
		合 計	-	4	1		0	0	0	3	0
焼損	建	床面積(n	n^2)	375	17					358	
損面	物	表面積(n	n^2)	125	115					10	
積		林 野 (a)		26	5					20	1
	損害	額(千円)		11, 459	4, 626				26	6,807	
, μ .	減害	死 者()	()	0							
八印	// // // // // // // // // // // // //	負傷者 (ノ	()	2	1				1		

(10) 過去5年間火災発生状況

		区分		Н30	R1	R2	R3	R4
火		建物が	大 災	6	7	7	8	9
火災件数		林野り	大 災	1	3	1	4	3
数		車両り	火 災	4	2	1	1	
件		その他の	火災	4	2	7	5	1
		計		15	14	16	18	13
		全	焼	3	3	3	3	1
	火元	半	焼			1		
焼	元	部分	分 焼	1	1	1	3	2
焼損棟数		ぼ	や	2	3	2	3	6
数		全	焼				1	
(棟)	類	半	焼					
	部 分 焼			2	2			
		ぼ	や			1	2	
		計		8	9	8	12	9
焼損		焼損床面積	(m^2)	407	384	563	741	375
損面		焼損表面積	(m^2)	6	30	2	73	125
積		林 野	(a)	6	155	59	167	26
	り	災世帯 (世	上帯)	7	6	6	7	9
	り	災人員	(人)	11	14	11	17	22
損害		建	物	8,680	22, 961	5, 974	17, 572	9, 443
額		収 容	物	155	924	2, 076	12, 993	2,015
千		その	他	4, 471	108	34	660	1
円)		計		13, 306	23, 993	8, 084	31, 225	11, 459
 	1姑宇	(人) 死	者	1				
八印	八八〇百	負	傷者	3	2		3	2

(11) 令和4年火災種別月別火災件数

月火災種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
建物火災		1	2		2					1	1	2	9
林野火災					2	1							3
車両火災													0
その他の火災					1								1
合計	0	1	2	0	5	1	0	0	0	1	1	2	13

(12) 火災の出火原因

原因	マッチライター	ガス バーナー	ガスコンロ	石油 ストーブ	分電盤	リチウム 電池	その他	合計
件数	1	1	2	1	1	1	6	13

(13) 時間別出火件数

時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	不明	合計
建物火災	1	1	1	2				2	1	1				9
林野火災						1	2							3
車両火災														0
その他の火災								1						1
合計	1	1	1	2	0	1	2	3	1	1	0	0	0	13

(14) 死者・負傷者の発生状況

区分	年	Н25	Н26	Н27	H28	Н29	Н30	R1	R2	R3	R4	合計
死	者	2				1	1					4
負貨	島 者	1	4	2	1	2	3	2		3	2	20
放火	自殺				1							1

4 警防編

(1)消防機関の出動状況

R4. 1. 1~R4. 12. 31

		НЗ	30			R	1			R	2			R	3			R	4	
	消防	職員	消防	回員	消防	職員	消防	回員	消防	職員	消防	団員	消防	職員	消防	団員	消防	職員	消防	団員
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
火 災	16	258	12	163	14	205	10	209	15	200	10	118	17	261	14	219	12	176	12	117
救 急	1,610	5, 066			1, 540	4, 861			1, 403	4, 460			1, 582	4, 991			1, 693	5, 397		
救助	26	304			28	277			13	115			18	175			28	335		
風水害等の災害	12	35			4	15	2	227	1	5			1	3			3	15		
演習・訓練等	115	565	28	1, 944	40	360	17	1, 918	81	274			115	540	11	286	108	423	27	807
広報 · 指導	147	479	5	731	122	502	2	334	103	284	15	542	34	121	9	885	68	195	17	801
警 防 調 査	159	412			210	987			196	496			282	939			292	963		
火災原因調査	15	92			14	91			16	92			18	92			13	139		
特別警戒	17	54	1	10	124	359	12	568	55	117			26	56			26	91	2	9
捜索	3	39	1	11	7	68	1	13	4	42	2	10	7	93	1	5	3	47		
予 防 査 察	193	512			164	443			120	293			92	225			138	323		
誤 報 等	9	26	2	14	22	165			12	69			17	71	1	22	8	62		
そ の 他	53	181	14	102	50	273	1	7	153	784	73	546	197	914	44	187	188	964	92	931
計	2, 375	8, 023	63	2, 975	2, 339	8, 606	45	3, 276	2, 172	7, 231	100	1, 216	2, 406	8, 481	80	1,604	2, 580	9, 130	150	2, 665

(2) 救助活動状況

地区別救助出動状況

R4. 1. 1~R4. 12. 31

	事故種別	I ///	交通	水難	自然	機械	建物	ガス	酸欠	爆発	1.1 114	
地 域		火災	事故	事故	災害	事故	事故	事故	事故	事故	その他	計
	救助出動		1			1						2
堀之内	救助活動		1			0						1
	救助人員		1			0						1
	救助出動		1	1			2				3	7
小 出	救助活動		1	1			1			1	3	6
	救助人員		1	1			1				2	5
	救助出動						1				8	9
湯之谷	救助活動					[1			[4	5
	救助人員						1				5	6
	救助出動					1					1	2
広 神	救助活動					1					1	2
	救助人員					1					1	2
, nn	救助出動		2					 			1	3
守 門	救助活動		2			 					1	3
	救助人員		6								1	7
入広瀬	救助出動										3	3
八四個	救助活動 救助人員					}				l	3	3
	救助出動										3	0
管外	救助活動					}					}	0
P /I	救助人員											0
関	上救助出動		1									1
越	救助活動		0							1		0
自	り 救助人員		0									0
	下 救助出動		1							1		1
車	救助活動	[1			[]	I		1
道	り 救助人員		1								- 2 - 2 - 2 - 2	1
	救助出動	0	6	1	0	2	3	0	0	0	16	28
計	救助活動	0	5	1	0	1	2	0	0	0	12	21
	救助人員	0	9	1	0	1	2	0	0	0	12	25

過去5年間の救助活動状況

年	事故種別	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 事故	酸欠事故	爆発 事故	その他	計
	救助出動	1	9	2							14	26
平成30年	救助活動	1	6	2							12	21
	救助人員	1	6	2							12	21
	救助出動		7	1	1	1					18	28
令和元年	救助活動		5	1	1	0					17	24
	救助人員		5	1	5	0					26	37
	救助出動		6	2							5	13
令和2年	救助活動		5	1							5	11
	救助人員		5	1							5	11
	救助出動		3	2						l	13	18
令和3年	救助活動		3	1							13	17
	救助人員		4	1							12	17
	救助出動		6	1		2	3				16	28
令和4年	救助活動		5	1	<u> </u>	1	2			[12	21
	救助人員		9	1	Ĭ	1	2]		I	12	25

(3) ポンプ車等配置・経過年数状況

R5.4.1現在

所属 区分	車両名	種別	車名	型別	ポンプ級別等	定員	購入年度	経過年数
	魚沼指令1号車	指揮車	トヨタ	_	_	6人	H22	13
	魚沼指令2号車	指揮車	ニッサン	_	_	5人	H26	9
	魚沼ポンプ1号車	水槽付ポンプ車	日野	水Ⅱ型	A-2級 水槽2,000@	6人	R3	2
	魚沼ポンプ2号車	ポンプ車	日野	CD-Ⅱ型	A-1級	5人	H21	14
	魚沼タンク1号車	タンク車	日野	小型ポンプ 付水槽車	B-2級 水槽2,5000	3人	H18	17
	魚沼救急1号車	救急車	トヨタ	高規格型	_	7人	R3	2
消	魚沼救急2号車	救急車	トヨタ	高規格型	_	7人	H27	8
防 本	魚沼救急3号車	非常用救急車	トヨタ	高規格型	_	7人	H24	11
部 •	魚沼救急4号車	人員輸送車	トヨタ	高規格型	_	7人	H20	15
署	魚沼梯子1号車	はしご車	イベコ	24m級 5連	_	6人	H15	20
	魚沼救助1号車	救助工作車	日野	Ⅱ型	_	6人	H28	7
	魚沼消防1号車	資機材運搬車	三菱		_	3人	H20	15
	魚沼消防2号車	連絡車	三菱	_	_	4人	H23	12
	魚沼広報1号車	広報車	トヨタ	_	_	10人	H24	11
	魚沼広報2号車	連絡車	トヨタ	_	_	7人	H26	9
	マイクロバス	人員輸送車	ニッサン	_	_	29人	H18	17
	タイヤショベル	建設荷役車両	САТ	902 CSR		1人	H26	9
	北ポンプ1号車	ポンプ車	日野	CD- I 型	A-2級 水槽6000	5人	H25	10
北部	北救急1号車	救急車	トヨタ	高規格型	_	7人	H29	6
分署	北広報1号車	連絡車	スズキ	_	_	4人	Н30	5
	タイヤショベル	建設荷役車両	日立建機	ZW40	_	1人	H25	10

(4)消防水利設置状況

防火水槽 R5.4.1現在

地域	種別	100㎡ 以上	60~100㎡ 以上 未満	40~60㎡ 以上 未満	20~40㎡ 以上 未満	20㎡未満	小計	地域計
堀之内	公設	1		35	12	1	49	51
出たとり	私設			1	1		2	51
小出	公設			57	3		60	67
小 田	私設	1		3	3		7	07
湯之谷	公設	1	1	34	5	2	43	49
	私設						0	43
広神	公設			76	17		93	94
<i>江</i> 种	私設			1			1	94
守 門	公設			58	18	2	78	79
/] [,]	私設			1			1	19
入広瀬	公設			42	7		49	49
八四個	私設						0	49
	公設	2	1	302	62	5	372	
合 計	私設	1		6	4		11	
	計	3	1	308	66	5	383	

消火栓

地域	種別	基準	基準外	小計	地域計
堀之内	公設	149	108	257	257
地之口	私設				201
小 出	公設	77	117	194	104
小 出	私設				194
沮→公	公設	9	39	48	ΕΛ
湯之谷	私設	2	4	6	54
広神	公設	86	133	219	910
四	私設				219
守 門	公設	86	93	179	170
寸 口	私設				179
1 片海	公設		29	29	00
入広瀬	私設				29
	公設	407	519	926	
合 計	私設	2	4	6	
	計	409	523	932	

その他の水利(自然水利、プール等)

地域	水利数
堀之内	8
小 出	26
湯之谷	14
広 神	20
守 門	2
入広瀬	3
合 計	73

(5)消防応援協定・覚書締結状況

消防相互応援協定・覚書(県外) R5.4.1現在

		分			類				
No.	全災害	火災	風水害	救急	救助	その他	協定・覚書名		協 定・覚 書 締 結 市 町 村 等
1		0		0	0		南会津地方広域市町村圏組合・魚沼市消防相互応援協定	福島県	南会津地方広域市町村圏組合
2	0						利根沼田広域市町村圏振興整備組合・魚沼市における消防相 互応援に関する協定書	群馬県	利根沼田広域消防本部
3	0						利根沼田広域市町村圏振興整備組合・魚沼市における消防相 互応援に関する協定に基づく覚書	群馬県	利根沼田広域消防本部

消防相互応援協定・覚書(県内)

		分			類								
No.	全災	資機材運	風水	救	救	その	協定・覚書名	協定・覚書締結市町村等					
	害	搬車	害	急	助	他							
1	\circ						新潟県広域消防相互応援協定	県下全消防本部					
2	\circ						新潟県広域消防相互応援協定に基づく覚書	県下全消防本部					
3	\circ						新潟県広域消防相互応援協定に基づく運用要綱	県下全消防本部					
4	\circ						新潟県消防防災へリコプター応援協定	県下全消防本部					
5	\circ						中部消防応援協定	中越地区全消防本部					
6		\circ		\circ	\circ	0	関越自動車道小出・大和間相互消防応援協定	南魚沼市消防本部					
7				\circ			高速自動車国道関越自動車道における救急業務の実施に関する覚書	東日本高速道路株式会社新潟支社					
8		\circ		\circ	\circ	\circ	高速自動車国道関越自動車道川口堀之内間消防相互応援協定	小千谷市長					
9				\circ			関越自動車道川口インターチェンジ〜小出インターチェンジ間における救急業務の実施に関する覚書	東日本高速道路株式会社新潟支社					
10						\bigcirc	プロパンガス事故の未然防止と災害発生時の相互協力についての協定	新潟県エルピーガス協会魚沼支部					
11	\circ						ドクターへリ離着陸支援に関する協定書	奥只見観光株式会社					
12				\circ			エボラ出血熱患者の移送に係る保健所に対する消防機関の協力に関する協定書	新潟県魚沼保健所					

(6) 救急出場状況

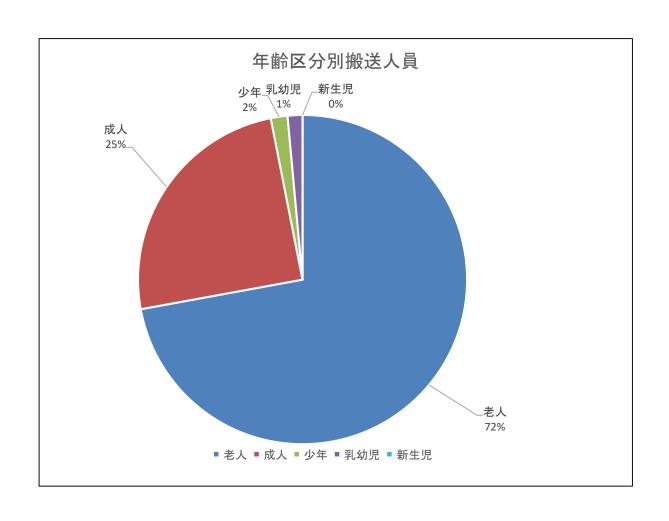
月別救急出場状況

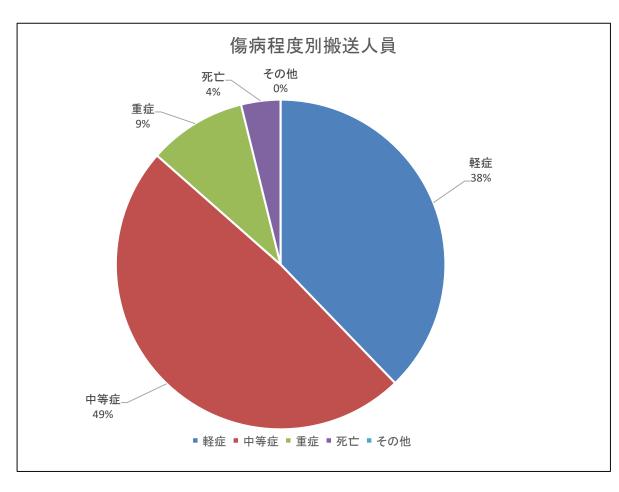
R4. 1. 1~R4. 12. 31

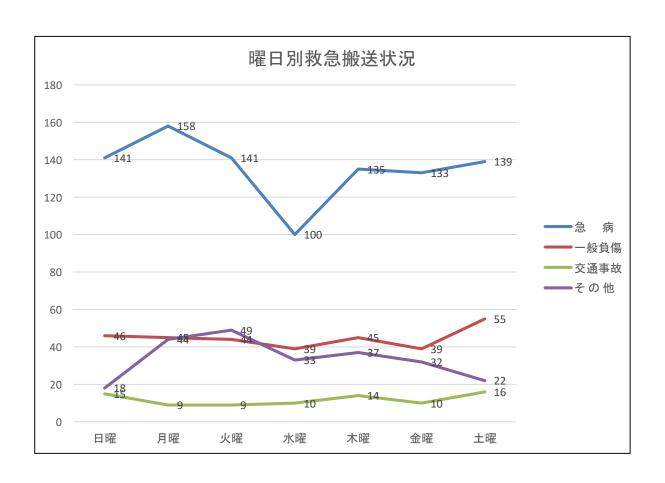
事故種別	合	火	自	水	交	労	運		加	自	急	7	- 0	り イ	也
区分	計	災災	口然災害事故	· 難 事 故	文 通 事 故	刀働災害事故	運動競技事故	般負傷	<i>"</i>	日損行為		転院搬送	医師等搬送	医療資器材等 輸送	その他
1 月	142				3	3		24	1	2	90	15			4
2 月	145				5	2		34		2	87	14			1
3 月	122				2	2		28		3	70	16	1		
4 月	123				10	3		26		2	68	12	1		1
5 月	127	1			8	1		19		1	76	16			5
6 月	137				2	4	1	30		1	79	17			3
7 月	137				11	2		18	1	2	90	13			
8 月	145				7	3	1	30			84	18			2
9 月	139				10	5	1	26		1	82	11	1		2
10 月	155				17			27	2	4	87	15	1		2
11 月	154	1			6	1		26		7	93	17			3
12 月	167	1			10	2		34		3	97	17			3
出動件数	1,693	3			91	28	3	322	4	28	1003	181	4		26
不搬送件数	123	1			15	1	1	10		9	56	1	4		25
搬送人員	1, 578	2			83	27	2	313	4	19	947	180			1

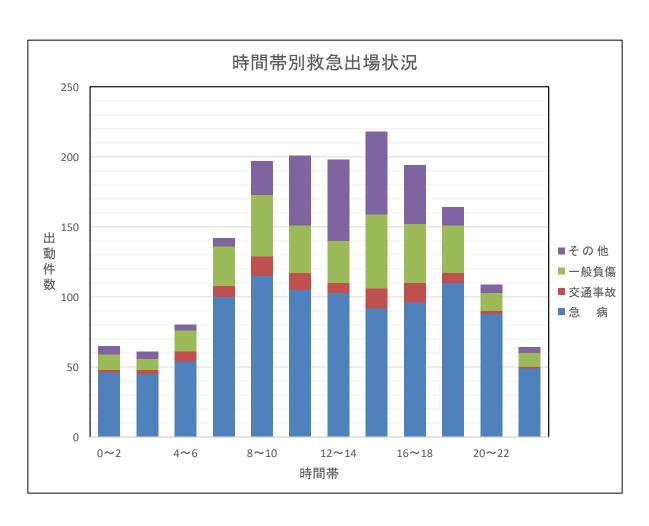
地域別救急出場状況 R4.1.1~R4.12.31

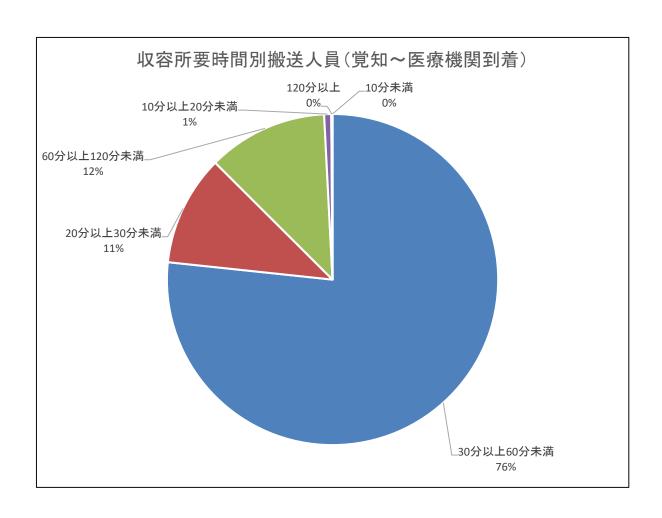
地域	堀之	内	小	出	湯。	と谷	広	神	守	門	入几	広瀬	管	外
	田	搬	出	搬	出	搬	出	搬	出	搬	出	搬	出	搬
	場	送	場	送	場	送	場	送	場	送	場	送	場	送
	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
事故種別	数	員	数	員	数	員	数	員	数	員	数	員	数	員
急病	206	190	297	276	157	149	200	195	97	94	46	43		
交通事故	16	16	34	30	14	11	8	8	14	14	4	3	1	1
一般負傷	60	59	83	82	54	51	58	58	43	41	23	21	1	1
その他	34	27	186	175	19	8	14	8	21	16	3	1		
合 計	316	292	600	563	244	219	280	269	175	165	76	68	2	2









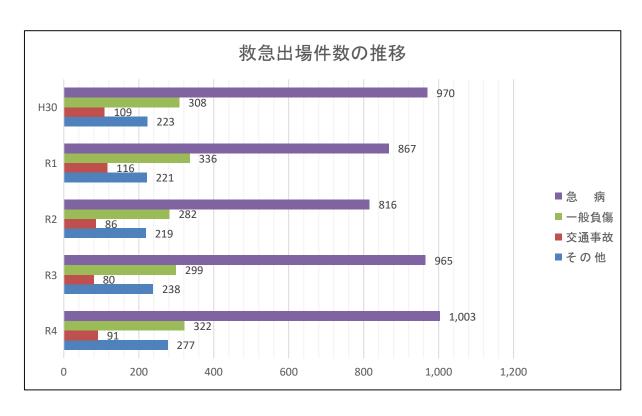


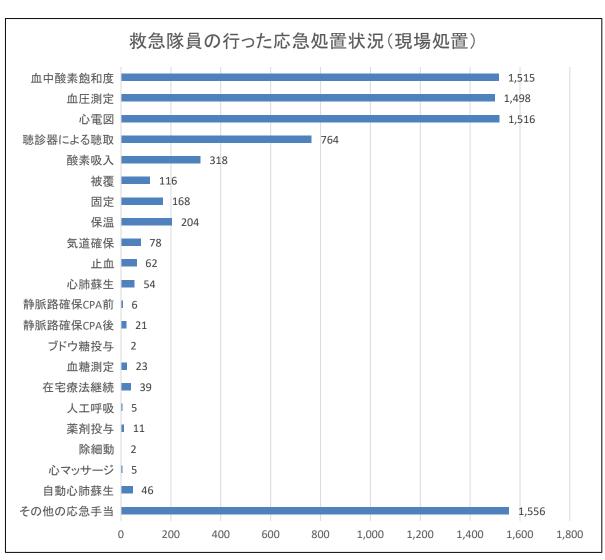
転院搬送状況

地域別	所在市町村名	収容先医療機関名	搬送人員
	魚沼市	市立小出病院	25
		魚沼基幹病院	126
广林医 梅圈	古色辺古	南魚沼市民病院	1
広域医療圏	南魚沼市	齋藤記念病院	1
		南魚沼市立ゆきぐに大和病院	
	十日町市	県立十日町病院	3
		長岡赤十字病院	4
. 	巨四士	立川綜合病院	12
中越	長岡市	長岡中央綜合病院	7
		厚生連小千谷総合病院	1
	合	計	180

応急手当普及啓発状況

区分	講習回数	前年比	受講人員	前年比
一般講習	15	-9	169	-69
普通救命講習 I,Ⅲ	9	-2	67	-29
上級救命講習	1	-1	11	-1
普及員講習	0	-1	0	-5
計	25	-13	247	-104





(7)消防緊急施設の概要

①指令施設の概要

①拍下爬取 /	业/. 🛱	/#: ±*
設備装置・構成機器	数量	横 考
指令装置		
1 指令台	2台	分離設置型
2 自動出動指定装置		
(1)制御処理装置	1式	
(2) ディスプレイ	4台	
3 地図等検索装置		
(1) 地図等検索装置	2式	自動出動ディスプレイ含む
(2) ディスプレイ	2台	
4 長時間録音装置	1台	デジタル記録式、メモ再生機能
5 非常用指令設備	1台	有紐式
6 指令制御装置	1台	自立型、装置内主要部2重化構成、携帯・IP受信装置内蔵
7 補助受付装置	2台	日立主、双巨门工女师 2 至旧府/从、1/5 川 1 1 文旧 双巨门网
8 プリンタ	2台	モノクロ、カラー
	1台	松 人同始晓宋叶白新园》 # 5
10 署所端末装置	0.75	指令回線障害時自動切り替え
(1)署所端末装置	2台	II. den (A. IIII
(2)署所端末用受令機	1台	北部分署
表示盤		
1 多目的情報表示盤	3台	車両情報1、支援情報1、多目的情報1
2 映像制御装置	1式	切替器、分配器、ビデオ録画機等
3 簡易情報表示盤	2台	災害情報 2
無線統制台	1式	
指令電送装置		
1 指令情報送信装置	1台	
2 指令情報出力装置	3台	本部2、分署1
災害情報等自動案内装置	1台	音声合成装置連動
順次指令装置	1台	携带電話一斉指令装置
音声合成装置	2式	指令装置内蔵、規則合成、蓄積合成併用方式
システム監視装置	1台	データ保守機能付
車両動態管理装置		高速無線ビーコン含む
1 出動車両運用管理装置	1台	
2 車両運用端末装置	10台	Ⅲ型、車外設定端末装置含む
電源装置		
1 無停電電源装置(本部)	4台	
2 無停電電源装置(署所)	1台	
3 直流電源装置	1台	
位置情報通知システム	1式	統合型、119FAX含む
映像伝送装置	1 1/4	スマートテレキャスター
1 受信装置	1 台	
1 文信表世 2 送信装置	1 _日 2台	
2 送信表直 ネットワーク機器	4 🗆	
*******	0.4	大如。八里眼
1 回線多重化装置	2台	本部~分署間
2 ルータ等	1式	
気象情報収集装置	1式	風向、風速、温度、湿度、雨量、気圧
電話設備	- ,	Lide A
1 構内交換機(主装置)	2 台	本部、分署
2 電話機	-	
監視カメラ	1式	記録装置1、カメラ装置9
避雷装置		

②無線施設の概要

	無線施設の概要 設備の場所または種類	数量	備考
>>/4 P	構成機器		
	方本部		
1	無線回線制御装置	1台	
2	通信統制端末装置	1式	
3	高機能遠隔制御装置	1台	
4	管理監視制御卓	1 台	
5	直流電源装置	1台	
6	耐雷トランス	_	
7	無停電電源装置	1 台	
8	DC/ACインバータ	1 台	
9	ネットワーク機器	1式	
北台	邻基地局		
1	高機能遠隔制御装置	1台	
2	遠隔制御装置	5 台	簡易型
3	基地局無線装置	2架	
4	空中線共用器	2架	
5	直流電源装置	1台	
6	耐雷トランス		
7	DC/ACインバータ	1台	
8	ネットワーク機器	1式	
9	空中線系	6式	
	出基地局		
1	基地局無線装置	2架	
2	空中線共用器	2架	
3	直流電源装置	1台	
4	耐雷トランス	_	
5	非常用発電機	1台	
6	DC/ACインバータ	1台	
7	ネットワーク機器	1式	
8	空中線系	6式	
	· 基地局	0 24	
$\frac{1}{1}$	基地局無線装置	1架	
$\frac{1}{2}$	空中線共用器	1架	
$\begin{vmatrix} 2 \\ 3 \end{vmatrix}$	直流電源装置	1 台	
$\begin{vmatrix} 3 \\ 4 \end{vmatrix}$	耐雷トランス	_	
5	DC/ACインバータ	1台	
6	ネットワーク機器	1式	
7	空中線系	2式	
		2 14	
1 1		3台	空中線系、可搬型無線装置含む
$\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$	車載型無線装置	17台	工 1 / / / / / / / / / / / / / / / / / /
$\begin{vmatrix} 2 \\ 3 \end{vmatrix}$	平	23台	
$\frac{3}{4}$	房市空無極表直 署活系携帯型無線装置	39台	
$\begin{vmatrix} 4 \\ 5 \end{vmatrix}$	有6. 示房市空無極表直 卓上型受令機	2台	空中線系含む
$\begin{vmatrix} 5 \\ 6 \end{vmatrix}$	消防団用	2 🗆	工 1
		2 台	
	2) 携帯型無線装置	19台	
	ナログ無線設備	1 4	防災相互波
$\frac{1}{2}$	基地局無線装置	1台	空中線系含む
2	携帯型無線装置	3台	

(8) 119番・自動災害案内着信回数

					1	1	9 1	番 着	信	口	数				自動災害案内		web出動状況 アクセス数	
年		火災	救急	救助	その他災害	訓練	問い合わせ	誤報	試験	いたずら	まちがい	無言電話	合 計	日平均	着信数	日平均	回数	日平均
1100	1 1 9	21	854	3	6	256	42	9	253	4	46	3	1, 497	4		00.0	cn 00c	175.0
H30	携帯 1 1 9	15	421	10	3	46	27		20		35	3	580	2	10, 899	29. 9	63, 886	175. 0
D.1	1 1 9	9	746	8	6	263	27	10	246	7	39	9	1, 370		10.700	25.0	100 055	001.0
R1	携帯 1 1 9	8	418	16	12	43	24	4	7		30	15	577	2	12, 763	35. 0	102, 855	281.8
D.O.	1 1 9	5	661	2	8	234	22	16	225		27	5	1, 205	3		07.0	101 007	077.0
R2	携帯 1 1 9	6	392	8	6	63	22	3	18	3	32	10	563	2	9, 967	27. 3	101, 207	277.3
D.O.	1 1 9	11	698	5	16	235	44	8	286	8	38	5	1, 354	4		04.7	104 010	241.0
R3	携帯 1 1 9	15	449	13	6	33	44	4	30	1	39	11	645	2	12, 682	34. 7	124, 810	341.9
D.4	1 1 9	4	708	6	5	239	57	4	299		38	1	1, 361	4	0.050	07.0	104.050	005.1
R4	携帯 1 1 9	10	530	15	6	34	72	6	24	1	51	7	756	2	9, 952	27. 3	104, 052	285. 1
平均	1 1 9	10	733	5	8	245	38	9	262	4	38	5	1, 357	4	11 050	30. 8	00.269	979 0
平均	携帯 1 1 9	11	442	12	7	44	38	3	20	1	37	9	624	2	11, 253	30.8	99, 362	272. 2

※平均の中の「日平均」は年365日で算出

(9) 気象状況

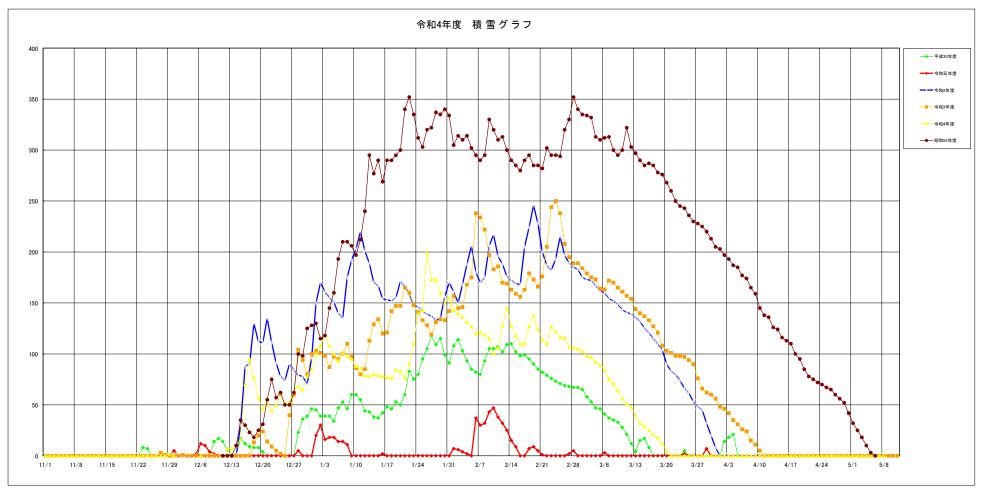
(令和4年)

															\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	14年)
 区分	_		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
	平	均 気	温	0	0.3	3. 4	9. 4	16. 1	21. 4	25. 9	25. 7	22. 4	13. 7	9. 9	2. 5	13
気 温	. 最	高気温極	値	8	9.3	17.8	27. 3	31.8	36. 7	36. 6	39. 1	35. 2	27.8	22. 9	13. 1	25
	最	低気温極	値	-6.3	-5.9	-6.6	-1.1	3. 7	10.8	19. 4	14	10. 2	2	0.8	-2.5	3
油 中		均湿	度	96. 7	95. 1	91. 4	84. 3	77. 9	85	88.3	89. 2	89.6	91.6	93	96. 1	90
湿度		小 湿	度	57. 7	51.9	33.8	24. 1	18.8	33. 3	39. 4	48. 3	40.5	44. 7	45	39. 4	40
気 圧	平	均 気	圧	1006. 3	1006.8	1005. 1	1005. 7	1001.5	998. 6	996. 4	997. 2	1002. 2	1008. 7	1007. 9	1004. 9	1003
降水量		算降水	量	280	198. 5	103	108	94. 5	67	138	140	159. 5	104	132	490	168
阵小里		最大降水	量	32	30. 5	18	29. 5	31. 5	17	23. 5	28	40.5	27. 5	18. 5	47	29
風	平	均 風	速	1. 4	1.3	1. 2	1.5	1.5	1.5	1. 4	1.3	1.4	1. 2	1.3	1.3	1
)到	最	大分間風	.速	10.3	18. 2	22	14. 6	8.5	7. 2	7. 7	8.9	18. 2	8. 5	17. 1	20.6	13
	快		晴				1	6	1	1	2		4	1	1	1
		晴		4	3	7	16	9	5	11	11	14	8	6	3	8
	薄		曇													0
		曇		12	9	15	8	13	19	15	15	13	16	18	9	14
	煙		霧													0
		じんあら	し													0
	-	ふ ぶ	き													0
天 候		霧	1											2	1	0
	霧	=	雨		1	0		0		4	0	0	0		4	0
	7,	雨 — ぞ	れ		1	8	5	3	5	4	3	3	3	3	4	4
	み	て 雪	<i>4</i> U	15	15	1									13	4
	あ	= ら	れ	10	19	1									13	0
	ひ	ー よ	う													0
	Ě	======================================														0
	総	 降 雪	量	375	428	10	0	_	_	_	_	_	_	_	207	170
雪	日:	最大降雪	量	36	82	6	0	_	_	_	_	_	_	_	65	32
	最	大 積	雪	165	250	184	48	_	_	_	_	_	_	_	95	124
						おなけ	1 🏻		TL イド1 1		ロナベ			.		

※雪関係の平均値は、1月~4月及び11月~12月までの6ヶ月間の平均とした。

(10) 降雪状況表

年	初雪月日	根雪月日	最終降雪月日	消雪月日	根雪期間	降雪累計	降雪日数	最深降	雪月日	最深積	雪月日	備考
S55∼S56	12月10日	12月14日	3月27日	5月6日	144日	1654cm	86日	1月12日	75cm	1月22日	352cm	56豪雪の状況
H30∼H31	11月23日	12月28日	4月9日	3月22日	84日	606cm	69日	1月22日	28cm	1月27日	118cm	
R1∼R2	11月29日	(根雪なし)	4月6日	(根雪なし)	(根雪なし)	229cm	43日	2月6日	37cm	2月10日	47cm	
R2∼R3	12月14日	12月14日	4月10日	4月12日	117日	1093cm	54日	1月2日	90cm	2月19日	246cm	過去5年間の状況
R3∼R4	11月26日	12月26日	3月20日	4月14日	122日	1050cm	69日	1月2日	82cm	2月24日	250ст	
R4~R5	12月2日	12月15日	4月9日	4月6日	121日	712cm	56日	1月29日	66cm	1月29日	200cm	



5 消防団

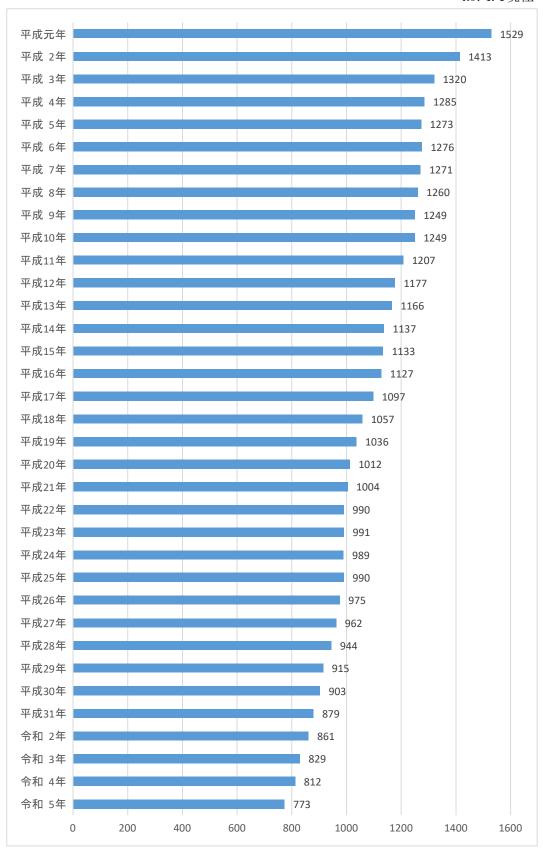
(1) 歴代消防団長

	区分	歴代	氏 名	就任	退任	備考
		初代	真島源松	昭和23年 3月 7日	昭和30年2月15日	
		2代目	油崎廣治	昭和30年 2月16日	昭和60年4月10日	
		3代目	小山正雄	昭和60年 4月11日	平成元年 3月31日	
	堀之内町消防団	4代目	山形清一	平成元年 4月 1日	平成 5年 3月31日	
		5代目	渡部一二	平成 5年 4月 1日	平成 9年 3月31日	
		6代目	佐藤小右衛門	平成 9年 4月 1日	平成13年 4月15日	
		7代目	森山武郎	平成13年 4月16日	平成17年 3月31日	
		初代	大塚正男	昭和42年 4月 1日	昭和50年 3月31日	
		2代目	岡部 保	昭和50年 4月 1日	平成元年 3月31日	
	小出郷消防団	3代目	星 昭	平成元年 4月 1日	平成 7年 3月31日	
		4代目	井口昭夫	平成 7年 4月 1日	平成13年 3月31日	
		5代目	野村 勲	平成13年 4月 1日	平成16年10月31日	
		初代	田島三右エ門	昭和30年 4月 1日	昭和31年 3月31日	
		2代目	櫻井 茂	昭和31年 4月 1日	昭和32年 3月31日	
		3代目	星野正理	昭和32年 4月 1日	昭和62年 3月31日	
統	広神村消防団	4代目	仲丸昭吾	昭和62年 4月 1日	平成元年 3月31日	
合前	四种们 伯妙国	5代目	矢久保信雄	平成元年 5月17日	平成 8年 3月31日	
\mathcal{O}		6代目	高橋重道	平成 8年 4月 1日	平成 9年 8月31日	
消防		7代目	目黒弘一	平成 9年 9月 1日	平成16年 3月31日	
団		8代目	松田光正	平成16年 4月 1日	平成18年 3月31日	
		初代	桜井孝一	昭和31年 9月30日	昭和39年11月 7日	
		2代目	桜井頼正	昭和39年11月 8日	昭和47年11月 7日	
		3代目	桜井寅二	昭和47年11月 8日	昭和56年 3月31日	
	守門村消防団	4代目	平井昭一	昭和56年 4月 1日	平成元年 3月31日	
		5代目	椿 広衛	平成元年 4月 1日	平成 5年 3月31日	
		6代目	榎本二夫	平成 5年 4月 1日	平成15年 3月31日	
		7代目	内山利助	平成15年 4月 1日	平成18年 3月31日	
		初代	佐藤重雄	昭和22年10月20日	昭和23年 3月31日	
		2代目	佐藤淳太郎	昭和23年 4月 1日	昭和24年 5月10日	
		3代目	佐藤豊二	昭和24年 5月11日	昭和31年 1月10日	
	入広瀬村消防団	4代目	佐藤堅吉	昭和31年 1月11日	昭和34年 6月30日	
	八四城门旧的四	5代目	大島敏治	昭和34年 7月 1日	昭和49年 5月10日	
		6代目	穴沢博信	昭和49年 5月11日	昭和61年 4月 1日	
		7代目	佐藤栄一	昭和61年 5月 1日	平成14年 3月31日	
		8代目	浅井 稔	平成14年 4月 1日	平成18年 3月31日	
	[初代	野村 勲	平成16年11月 1日	平成19年 3月31日	
	[2代目	松田光正	平成19年 4月 1日	平成21年 3月31日	
	魚沼市消防団	3代目	五十嵐秀美	平成21年 4月 1日	平成29年 3月31日	
	V// 1년 1년 111일시즌1	4代目	岡部 誠	平成29年 4月 1日	令和 3年 3月31日	
	[5代目	中村正克	令和 3年 4月 1日	令和 5年 3月31日	
		6代目	星和雄	令和 5年 4月 1日		

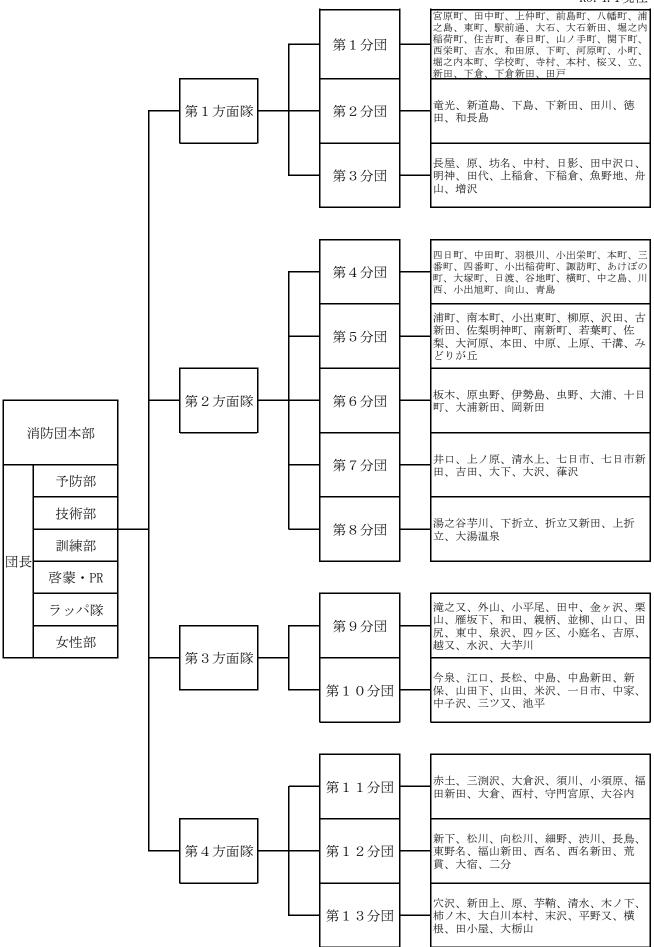
※平成16年11月1日町村合併により消防団も統合され、魚沼市消防団となる。 (敬称略)

(2)消防団員数の推移

R5.4.1現在



(3)消防団組織図



(4)消防団員及び消防ポンプの配置状況

		人	指令			消防	「ポンプ台数(台) 小文字	字は配	R5. 4. 1 現在 程置地区名
所属▷	区分	員	車等	ポ	ジンプ車		小型ポンプ付 積載車・軽トラック		小型ポンプ
	本部・4部	10	2			1		11	代替用、操法用
消防団本部等	女性部	15							
	ラッパ隊	16							
	方面隊本部	4							
htte 4 - 1- TP-	第1分団	72		1	小町	3	八幡町、根小屋本村、 堀之内稲荷町	4	大石、吉水、下倉、田戸
第1方面隊	第2分団	57				4	竜光、下島、和長島、 新道島	3	下新田、田川、徳田
	第3分団	47				3	原、明神、魚野地	3	長屋、日影、舟山
	方面隊本部	4							
	第4分団	61		1	羽根川	4	羽根川、小出稲荷町、 川西、青島		
htte o La Te 1724	第5分団	64		1	南本町	3	沢田、中原、干溝	1	佐梨本田
第2方面隊	第6分団	54		1	虫野	3	板木、十日町、原虫野	4	伊勢島、大浦、 大浦新田、岡新田
	第7分団	49		1	大沢	3	井口、七日市、吉田	1	上ノ原
	第8分団	37				3	湯之谷芋川、下折立、 大湯温泉	2	折立又新田、上折立
	方面隊本部	4							
第3方面隊	第9分団	59				6	滝之又、小平尾、田中、 並柳、小庭名、雁坂下	7	外山、栗山、親柄、四ヶ区、 越又、水沢、大芋川
	第10分団	67				4	今泉、中島、中家、山田	10	江口、長松、中島新田、新保、 山田下、米沢、一日市、中子沢、 三ツ又、池平
	方面隊本部	4							
555 A	第11分団	47				5	三渕沢、須川、西村、 守門宮原、小須原	4	赤土、大倉沢、大倉、 大谷内
第4方面隊	第12分団	55				4	細野、西名、福山新田、 長鳥	7	新下、松川、渋川、東野 名、西名新田、荒貫、二分
	第13分団	47				4	穴沢、横根、大栃山、 大白川	5	柿ノ木、芋鞘、清水、平野 又、末沢
計		773	2	5		50		62	

(5) 年齢別・階級別消防団員数 ※平均年齢38.4歳

R5.4.1現在

年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満							1	1
20歳~24歳						2	22	24
25歳~29歳				2	1	7	48	58
30歳~34歳			1		4	21	84	110
35歳~39歳			4	8	11	43	129	195
40歳~44歳			11	11	14	37	99	172
45歳~49歳			10	7	11	20	92	140
50歳~54歳		1	5	3	1	6	35	51
55歳以上	1	3	4	2	1	1	10	22
合計	1	4	35	33	43	137	520	773

(6) 在職年数別消防団員数

R5.4.1現在

	5年未満	5年以上 10年未満		15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
人数	98	127	171	179	98	75	25	773
うち女性	4	2	4	4	1			15

(7)消防団員の職業構成

R5.4.1現在

	職業構成					
	公務員			日本郵政グループ	7. D/14	合計
	国家公務員	地方公務員	特殊法人等	グループ	その他	
人数	0	53	48	8	664	773
割合(%)	0.0%	6. 9%	6. 2%	1.0%	85. 9%	100.0%

(8) 消防団員の就業形態

				===	* 1 2 7 1 1 1 2	
	就業形態					
	被用者	自営業者	家族従業者	その他	合計	
人数	635	29	86	23	773	
割合(%)	82. 1%	3. 8%	11.1%	3.0%	100.0%	

(9)消防団の事業概要

区分		実施期日	事業	名 等	内 容	会場等	摘要
	1	4/2 (土)	, ,,,	***************************************	辞令交付及び会議	魚沼市消防本部	36名
-	2	4/2 (上)	任命式・分団長以上会議 新入団員研修会		辞令交付、普通救命講習、規律訓練	魚沼市消防本部	35名
ŀ	3	4/3 (日)		貝ザ10万 予防広報	(春)機械器具点検・防火広報	管内全域	258名
	4	10/16 (日)			礼式・分列・放水訓練等	旧堀之内庁舎	204名
	5	6/19 (日)		合防災訓練	和	旧井口小学校	28名
団	6	9/25 (日)			消防団活動のPR・団員募集	市立小出病院	R4年度中止
121	7	11/6 (日)	消防フェスタ 		(秋)機械器具点検·防火広報	管内全域	全戸配布
関	8	11/0 (д)	消防本部、消防団合同訓練		木造建物密集地火災防御訓練	堀之内地区(山ノ手町)	R4年度中止
-	9	1/8 (目)	消防出初式		分列行進・パレード・放水訓練・式典		340名
係	10	1/26 (木)	文化財防火デー		防火訓練	守門地区 目黒邸	12名
F	11		会議		本部、方面隊、分団等	11126 1 West	随時実施
-							5月・11月 火災予防
-	12	5月25日号/6月10日号	消防団PR活動		広報誌「消防団だより」発行		6月・3月 団だより
-	13	随時	啓蒙・PR		消防戦隊ウオヌマン	to version to	随時実施
	14	5/0 (日)	市長杯ポンプ操法大会		ポンプ操法競技会	魚沼市内	R4年度中止
方	1	7/3 (日)		方面隊	放水訓練	堀之内地区	117名
面隊	2	17 (日)、24 (日)	第2方面隊		放水訓練	小出・湯之谷地区	135名
関係	3			方面隊			未実施
	4	1 (1)		方面隊			未実施
ŀ	1	4/13 (水)		員総会	地区支会事業報告・事業計画	小千谷市	5名
-	2	4/23 (土)	訓練部長・持	嬠法審査員会議	訓練部長・審査員等	II .	3名
	3	5/8 (目)	訓	初級幹部訓練	座学・規律礼式等訓練	"	47名
地	4	"	練会	ラッパ隊訓練	ラッパ隊員の訓練	"	5名
区	5	"		ポンプ操法訓練	ポンプ操法技術の向上	"	7名
支会関	6	// 2/22/(E)	20. 01	機関員講習会	機関員の知識・技術の習得	魚沼市・小千谷市	12名
係	7	6/26 (目)	ポンプ操法競技会		ポンプ車・小型ポンプ操法	小千谷市	中止
-	8	7/9 (土)	支会役員・幹部研修会		支会役員研修	小千谷市	10名
-	9	10/29 (土)	北魚沼視察研修			r = c> dayletda I dan	5名
-	10	11/26 (土)	正副支会長会議、訓練部長会議 地区支会役員協議会		正副支会長会議	小千谷市消防本部	2名
	11	2/4 (土)	地区文芸		地区支会役員	小千谷市消防本部	5名
	1		A課程	新任(入団3年未満)の消防団員	消防学校	1名	
-	0	12/10 (土)	85-4	B課程	概ね3年以上の実務経験を有する者	消防学校	1名
消	2	5/20 (金) ~5/21 (土)	警防科			消防学校	出向者なし
防学	3	令和4年度休止	教育主幹科		教育主幹の職にある者又は 分団長以上の職にある者	消防学校	中止
校関係	4	6/10 (金) ~6/11 (土) 12/23 (金) ~12/24 (土)	指揮幹部科	現場指揮課程	部長又は部長と同等の実務経験 を有する班長の階級にある者	消防学校	1名
		7/30 (土) 、10/15 (土)		分団指揮課程	分団長、副分団長の階級にある者	消防学校	1名
	5	6/18 (土) 、10/1 (土)	女性消防団員科		女性消防団員	消防学校	出向者なし
	6	6/24 (金) ~6/25 (土)	初級幹部科		班長を対象	消防学校	1名
	1	5/17 (火)	魚野川河川合同巡視		魚野川合同巡視	魚野川	消防本部対応
	2	5/22 (目)	信濃川魚野川総合水防演習リハーサル		水防演習	燕市(大河津分水)	9名
県	3	6/5 (目)	信濃川魚野川総合水防演習		水防演習	燕市 (大河津分水)	65名
国	4	9/4 (日)	新潟県消防大会		小型ポンプ操法1隊出場	妙高市	中止
関係	5	10/23 (日)	新潟県総合防災訓練		女性団員ほか	十日町市	中止
NV	6	10/23 (目)	新潟県総合防災訓練		地震の発生を想定した訓練	田上町	13名
	7	10月、11月	水防技術研修		水防技術	新潟市	中止
	8	10/29 (土)	全国消防操法大会		ポンプ操法 (男性)	千葉県市原市	出場なし
署	1	4/7 (木)		務担当者会議 *****	消防団係(消防吏員)	新潟市	実施
2 4/20 (水) ~4/22 (金)			県操法審査員研修		県審査員(消防吏員)	県消防学校	実施